



# 富士通セミコンダクター株式会社 岩手工場 環境報告書

Fujitsu Semiconductor Limited Iwate Plant Sustainability Report

# 2012



## 1. ごあいさつ

岩手工場では、地域社会貢献活動・生物多様性保全活動の一環として2010年8月に岩手県と「企業の森づくり活動」に関する協定を締結し金ヶ崎町の千貫石森林公園内の保有林の一画を「富士通グループ・イーハトーブ星降る森」として、従業員のボランティアによる枝打ち作業など森林保全活動を継続し、実施しております。

その他には金ヶ崎町主催のクリーン作戦や植樹事業への参加など従業員による地域社会貢献活動および環境負荷低減活動を長年にわたり実施しております。

環境負荷低減活動では、廃棄物の循環的な利用拡大の継続した取り組みが評価され、富士通グループで初の「循環型社会形成推進功労賞等環境大臣賞」を2010年度に受賞しました。

今後も地域社会貢献活動への参加を継続して行うと共に、事業活動に伴う環境負荷低減活動を計画的に進めています。



岩手工場  
工場長 俵山 佳也

## 2. 事業所の紹介

四季折々の美しい自然に囲まれた当工場は、半導体前工程の工場として、自動車およびAV機器・家電・ゲームをはじめとする民生向けのフラッシュマイコンやシステムLSIの製造を行っています。品質・納期・コストの改善を推進するための3Z活動や、TPSを中心とした生産革新活動に工場一丸となって取り組み、お客様にご満足いただける製品を提供し続けます。

名 称：富士通セミコンダクター株式会社 岩手工場  
設 立：1980年9月  
従業員数：630名（関係会社を含む）  
事業内容：半導体製造

### 3. 環境活動の目標と実績

#### ■ 2011年度の活動目標と結果報告

富士通グループ第6期環境行動計画の中間年にあたる2011年度は、継続した取り組みの成果により全ての項目で目標を達成することができました。

2011年度の活動目標	活動結果	達成状況
エネルギー消費によるCO <sub>2</sub> 排出量を2011年度末までに2007年度実績比47%削減	56% 削減	達成
PFC排出量を2011年度末までに1995年度実績比60%削減	76% 削減	達成
重点化学物質の排出量を2011年度末までに2007年度実績比45%削減	52% 削減	達成
廃棄物の発生量を2011年度末までに2007年度実績比24%削減	50% 削減	達成
地域社会貢献活動を3件以上実施	5件実施	達成
生物多様性保全活動の実施 企業の森保全活動の実施	2件実施	達成
業務改善項目を10件以上実施	12件実施	達成

#### ■ 2012年度の活動目標

今までの活動を継続し、更なる改善を進めていき、第6期環境行動計画達成に向けた活動を進めています。

2012年度の活動目標
エネルギー消費によるCO <sub>2</sub> 排出量を2012年度末までに2007年度実績比49%削減
PFC排出量を2012年度末までに1995年度実績比62.5%削減
重点化学物質の排出量を2012年度末までに2007年度実績比38.8%削減
廃棄物の発生量を2012年度末までに2007年度実績比33%削減
地域社会貢献活動を3件以上実施
企業の森保全活動の実施
業務改善目標を10件以上実施

#### 4. グリーンファクトリー

##### ■2012年度の主な改善事例等

###### ・地球温暖化対策

1) 電力抑制施策の実施（冷凍機設備ポンプインバーター導入等）により 606t/年のCO<sub>2</sub>排出量を削減しました。

2) 冷水蓄熱システム導入によるピーク電力の削減

夜間電力で冷凍機を運転し、蓄熱槽に蓄え、電力抑制時間帯となる昼間に放熱することで冷凍機1台分の電力を削減することができました。

###### ・廃棄物排出量削減

濃度別による廃液の回収方法見直しを実施し、産業廃棄物としての搬出量を168t/年削減しました。

#### 5. 環境社会貢献活動

地域社会貢献活動、生物多様性保全活動の一環として、2010年から岩手県が推進している「企業の森づくり活動」に関する協定を締結し、金ヶ崎町の千貫石森林公園内の県有林の一画を「富士通グループ・イーハトーブ星降る森」として、森林保全活動を開始し今年も岩手工場従業員や家族、県内の関連会社の方々の協力を得て実施することができました。

また、継続的活動として、金ヶ崎町主催のクリーン作戦や植樹事業、環境月間行事として工場周辺道路の清掃、草刈作業を実施しています。



企業の森づくり活動



金ヶ崎町クリーン作戦

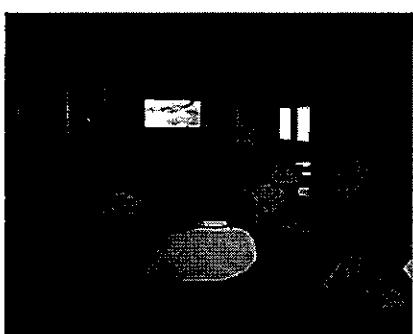


金ヶ崎町植樹事業（草刈）

#### 6. 環境教育・環境啓発活動

毎年従業員への環境啓発を計画的に実施しています。

環境月間に合わせ、環境ビデオ鑑賞会の実施、従業員緑化募金により購入した花苗による花壇整備等の緑化活動の実施。また全従業員を対象に岩手工場の環境への取り組みについて環境教育を実施しました。



環境ビデオ鑑賞会



工場内花壇整備

## 7. 安心・安全な工場への取り組み

### ・地下水

観測井戸を設置し、地下水の状況を定期的に分析をして確認をしています。工場敷地内にてフッ素漏洩の発生がありました  
が、工場敷地外への漏洩が無いことを確認し、継続監視を行うとともに漏洩場所の浄化作業を実施しております。

### ・大気・水質

ボイラーからの排ガス、工場からの排水について法規制値より厳しい自主管理値を定め、その値を超えないよう管理をしています。

### ・環境安全パトロール

環境月間に合わせ、工場長、施設管理部門、環境管理部門合同で環境関連施設の安全パトロールを実施しています。



安全パトロール

## 8. 環境に関する法規制の順守状況

法令、条例等の変更内容および順守状況を定期的に確認しています。  
2011年度の法令、条例等に関する違反はありませんでした。

## 9. 環境会計

2011年度岩手工場の環境会計実績は、費用6億7,910万円に対し、効果額6億2,377万円となりました。  
事業エリア内効果として、省エネルギー対策効果、資源の効率的利用による費用削減効果を計上しています。

2011年度 環境会計実績表（単位：百万円）

項目	範囲	費用	効果
事業エリア内費用・効果	公害防止・地球環境保全・資源循環等	543.2	423.4
上、下流費用・効果	廃製品リサイクル、グリーン購入等	0	0
管理活動費用・効果	ISO14001、環境教育、環境広報活動等	16.9	0.4
研究開発・ソリューションビジネス費用・効果	製品への環境配慮技術の研究等	0	0
社会活動費用・効果	環境保全団体への寄付、支援等	0.1	0
環境損傷対応費用・効果	土壤、地下水汚染の修復等	118.9	200
合計		679.1	623.8

## 10. 環境マネジメントシステム

富士通グループでは、2006年3月に富士通および国内連結子会社と海外連結子会社までを含めたグローバル統合の認証を取得しました。

岩手工場としては、2011年11月に株式会社日本環境認証機構(JACO)の更新審査の結果、規格要求事項に適合し、有効に実施していると判断されました。

今後も環境負荷低減活動が、より実際に即したものになるよう、改善を進めていきます。

## 11. 富士通セミコンダクターグループ環境方針

私たちは、先進の技術で

環境性能に優れた半導体デバイスを提供し、

お客様とともに豊かな地球環境の保護に貢献します

### ■ 行動指針

私たちは、以下の指針により

開発/調達/生産/販売/使用/廃棄にいたるすべてのライフサイクルで、  
環境負荷の低減と地球環境汚染の予防に努めます

1. スーパーグリーン製品の開発および製品含有化学物質の適正管理を積極的に推進することにより、  
製品の環境性能を向上させ、お客様および地球環境の負荷低減に積極的に貢献します
2. 地球温暖化対策を積極的に推進し、温室効果ガス (CO<sub>2</sub>、PFCs) の排出を削減します
3. 化学物質の適正管理を積極的に推進し、VOC (揮発性有機化合物) の排出を削減します
4. 廃棄物の発生量削減、および適正な再資源化を積極的に推進します
5. グローバルな視点で環境関連法規制、およびお客様とのお約束を順守します
6. よき環境市民となるべく、地域社会に根ざした環境社会貢献、生物多様性保全を推進し、社員一人  
ひとりの環境意識の向上を図ります
7. 環境マネジメントシステムの有効性、透明性の拡大を進め、継続的な改善と発展を図ります

2011年 4月 6日

富士通セミコンダクター株式会社

代表取締役社長 岡田 晴基

## 12. 環境負荷データ

### 富士通セミコンダクター株式会社 岩手工場

#### 使用量 (INPUT)

購入電力： 117,008MWh  
重油： 2,621 kJ  
灯油： 0 kJ  
LPG： 8トン  
水： 2,123千m<sup>3</sup>  
化学物質： 73トン

#### 排出量 (OUTPUT)

CO<sub>2</sub>排出量： 54,983トン  
NOx排出量： 9.9トン  
SOx排出量： 2.9トン  
廃棄物発生量： 820トン  
排水： 2,126千m<sup>3</sup>  
化学物質： 0.2トン

#### ■ (補足) 化学物質の算出方法について

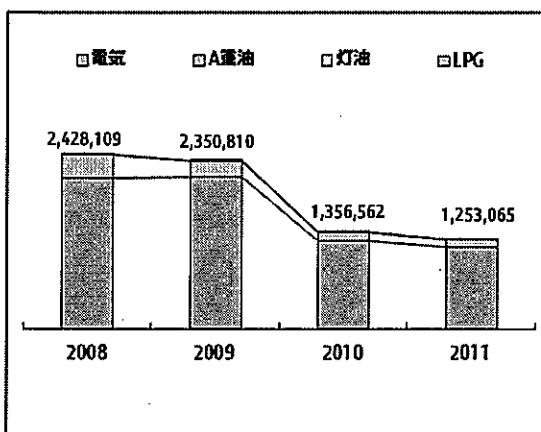
INPUT：工場におけるPRTR法の対象とされる化学物質の使用量。

OUTPUT：PRTR法の対象とされる化学物質の工場の排水口や排気口から排出される濃度を測定し、総排出量  
または総排気量を乗じて算出、あるいは化学物質の收支量に基づき算出。

### 13. 環境負荷データの経年推移

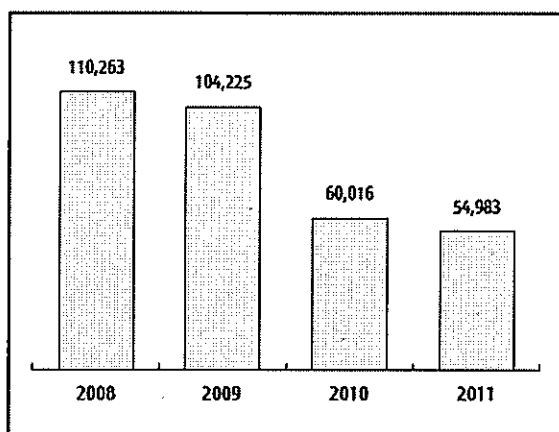
#### ■ エネルギー消費量

単位: GJ



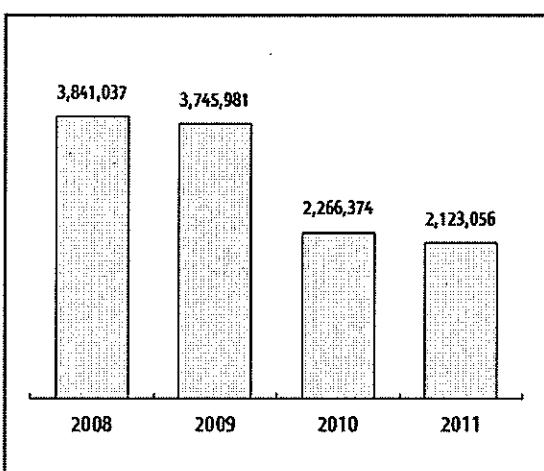
#### ■ CO<sub>2</sub>排出量

単位: トン-CO<sub>2</sub>



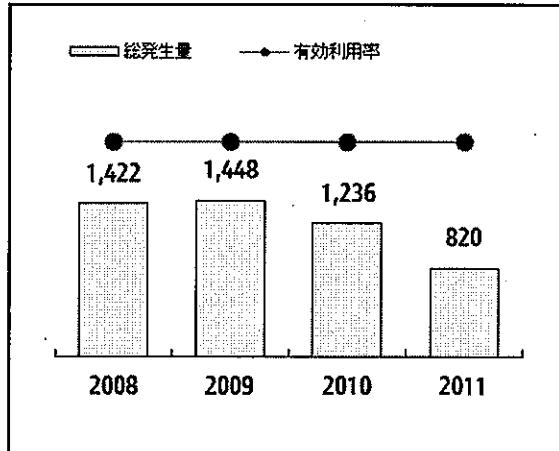
#### ■ 水の使用量

単位: m<sup>3</sup>



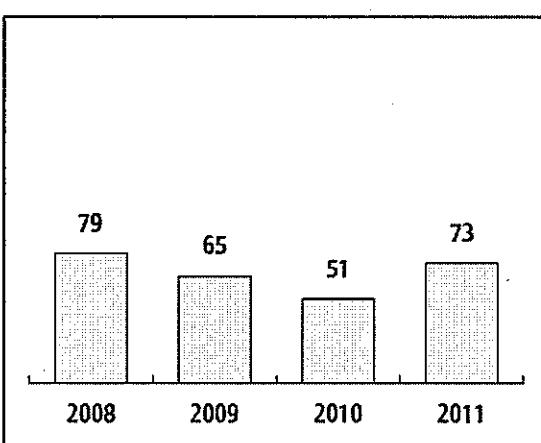
#### ■ 産業廃棄物

単位: トン、%



#### ■ 化学物質使用量

単位: トン



お問い合わせ先

**富士通セミコンダクター株式会社**

担当部署名: 岩手工場 総務部  
住所: 岩手県胆沢郡金ケ崎町西根森山4-2  
TEL: 0197-44-6605 FAX: 0197-44-2556

発行責任者: 俵山 佳也

編集責任者: 西岡 徹也

発行年月: 2012年9月

記載事項対象期間 2011年4月～2012年3月

報告URL: <http://jp.fujitsu.com/microelectronics/environment/>



いやなにがなを育む